



盆夜市



黒坂納涼まつり

黒坂に活気と笑顔あふれる 黒坂納涼まつり

8月15日、黒坂納涼まつりが開かれました。あいにくの雨により、昨年に引き続き、今年も黒坂小学校体育館での開催となりましたが、親子連れなど多くの人でにぎわいました。

会場では、ラムネの早飲みや輪投げなどのゲーム大会が行われたほか、黒坂小学校児童による傘踊りや日野高校郷土芸能部による荒神神楽が披露されました。

また、祭りの最後には300発の花火も打ち上げられ、黒坂のまちなかが大いに盛り上がった一日となりました。

▼ラムネの早飲み、景山町長と山口副町長も参加。大いに盛り上がりました



▲祭りのオープニングは黒坂小学校児童による傘踊り。その元気な踊りに、会場からは盛大な拍手が贈られていました



夜空に浮かび上がる雄大な姿

黒坂鏡山城址ライトアップ

8月14日から16日までの3日間、黒坂にある鏡山城址の石垣のライトアップが行われました。これは、城址の保存・活用で地域を盛り上げようと、黒坂鏡山城下を知ろう会（牧智也会長）が企画しているものです。

今年は、天守閣をかたどったイルミネーションに加え、馬上の関一政も登場。夜空に浮かび上がった、当時を思わせる雄大な姿に人々は足を止め、写真撮るなど、その姿に見入っている様子でした。



▲暗闇の中で、雄大さがより一層際立つ



▲懐かしさに見入ってしまいました

今回は、「古地図で見る我がまち」と題し、資料館所蔵の古地図が展示されたほか、「なつかしの日用雑貨」と題し、明治から昭和にかけて誕生し、現在も販売されている食品、化粧品、医薬品などの生活雑貨が展示されました。

来場者からは「懐かしい」「子どものころよく使った」などといった声が聞かれ、多くの人が当時の記憶とともに、懐かしい思い出もよみがえった様子でした。

8月14日から16日までの3日間、町歴史民俗資料館で特別展「町歴史民俗資料館友の会ほか主催」が開かれ、帰省者など多くの人が訪れました。

町歴史民俗資料館特別展

あのころの記憶が
よみがえる



▲木工教室にはたくさん子どもたちが参加

会場では、舟場昭和会の皆さんが銭太鼓の演奏を、日野町民ミュージカルの皆さんが歌を披露。日野高校生徒による「日野高シヨップ」も同時開催され、たくさんの人出でにぎわいました。

8月12日、セルプひの（社会福祉法人祥和会）夏まつりが同施設前駐車場で開催されました。

これは、日ごろから地域との交流を図っているセルプひのが感謝の気持ちを込め、毎年行っているものです。同施設のスタッフによる焼きそばやフランクフルト、かき氷などの屋台が並んだほか、木工・手芸教室、バザーなどが開かれ、訪れた人との交流を図っていました。

“ありがとう”の
気持ちを込めて
セルプひの夏まつり

根雨の盆の風物詩

灯籠まつりと盆夜市

8月13日から15日までの3日間、260灯の手作り灯籠が灯され、根雨のまちなかを幻想的に照らし出しました。

また、14日には、山陰合同銀行横で恒例の盆夜市が開かれ、焼きそばや焼き鳥などの屋台などが並ぶ中、帰省者など多くの人でにぎわいました。



▲うまく星を見つけれられたかな？

夏の星座を追いかけよう
星空観望会

ひの郷会会員による自作の天体望遠鏡を使った星空観望会が、8月10日、役場駐車場で行われました。

この日は、あいにくの曇り空で、土星などのわずかな星しか観察できまじましたが、参加者は望遠鏡をのぞき込み、観察を楽しみました。



▲子どもたちはゲームに夢中でした

毎年恒例の納涼祭
日野病院納涼祭

8月29日、日野病院で納涼祭が開かれ、入院患者をはじめ親子連れなどたくさんの方が訪れました。

会場では、アイスクリームやジュースなどが無料で提供されたほか、ボールすくいや輪投げといったゲームが行われ、たくさんの笑い声が響いていました。